

広報 **かわぐち** 平成12年 3月 No.318

えちごかわぐち物語・冬
雪洞火ぼたる祭

地域のエネルギーを一つにした「勇壮タイムツ競争」
シンボルタイムツを目指して、さあ行くぞ!



コラム 町長室から ②③

川口町長 星野和久

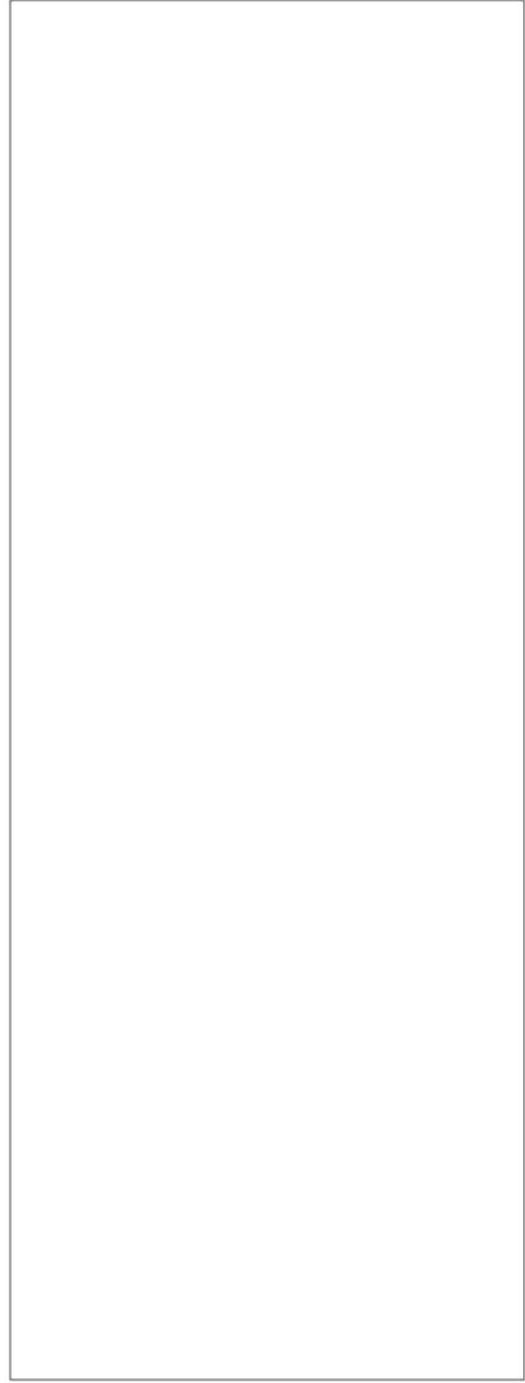
私は、知事との意見交換会において市町村の合併には大きく分けて二つのタイプが考えられるのではないかと述べてきました。一つは、中心となる都市を広域の核とした平場地域の合併であり、他は国土の四割を超える中山間地域の合併が考えられ、この二つは異質のものである。後者の中山間地域には、狭い国土の中で急峻な河川と山峡の地形に点在する、集落の集合体としての複数の自治体が存在している。しかも、財政力は極めて脆弱な自治体であり、主に豪雪や過疎といった条件不利地域でもある。そのような中山間地域は、「地域アイデンティティ」として生活や文化・歴史の一体的同質

性を共有する、農業を基幹産業とする農山村社会と云ってよい。そこにおける「地域の振興」とは、中山間集落からなる農山村社会を衰退させまいとする行政と地域住民の総合的営為を原点とするものである。畢竟するに「国土の保全」とは棚田と言われるほどに、山野の急傾斜地に至るまで、可能な限り開田して止まなきまでの努力の所産であると言ってもよいであろう。確かに現在国は、未曾有の赤字国債の累積による財政逼迫の状況にある。そのために、合併によって市町村の数を整理統合して、国から地方への財政負担を軽減するのだとしたら、しかし権限の移譲に加えて財源を地方に移譲して始めるのである。広域合併はもはや時代の変化による必然のものであるとして、たとえその正当性と合理性を振

りかざしても、地方分権とは、論の行き着くところ『地方主権』の意であり、広域合併は多くの自治体にとって、現実には主権の拡散であり放棄とさえなりかねないのである。したがって、住民参加による住民主体の行政を推進していくという分権型社会の到来の中であって、単なる合併は住民サービスの低下をまねくことは必至と思われる。そのため、都市中心の平場地域の合併は周辺地域を衰退させ、中山間地域の合併は多くの山間集落を消滅させることが憂慮されるのである。そこで私は、中山間地域における市町村の広域行政のあり方を次のように考えるのである。それは、「地域アイデンティティ」を共有する中山間地域を大きく広域の枠限として、域内の自治体相互に連携を図りながら、住民による自治を確立して行くことにより、きめ細かい行政ニーズに対応し

ていくことが大切であると。そのことが、自立した地域社会による「地域の振興」と山間集落の存続を担保とした「国土の保全」が図られるものと信じている。したがって、域内の合併は、必要により後からついてくるものであり、地方自治には多様な個性ある展開のパターンがあつてよいと思う。しかし、国は巷間まことしやかに聞こえてくるように、市町村の首に荒縄を掛けても、合併を断行するというのがあれば、実際には中央集権という地方分権は名ばかりのものになってしまつのである。しかも、この度の県の組織・機構改革は、出先機関の統廃合の早い動きから見ると、出先機関を広域圏内に整理統合して、広域合併の布石に先手を打つことにより、既成事実を積み重ねて誘動して行くという、県の意図的な姿勢が見えてくるのは私だけであろうか。

※今月の「山野草」はお休みします。

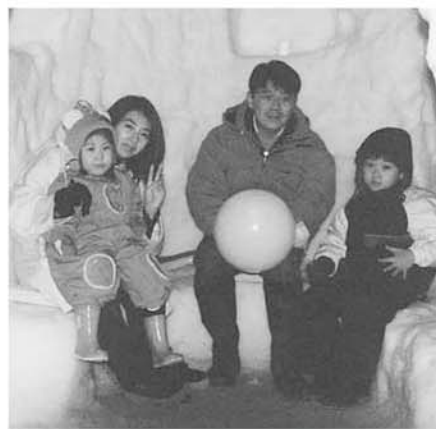


あとがき

この間、子どもとスーパーに買い物に行った時のこと、「ねえ、晩ご飯何にする？」品定めをして「これにしよつか！」今日のお買い得品、肉のパックを差し出したところ返事がないので振り返ると、目の前には見知らぬ男の人が「あまりの恥ずかしさにその場をどう離れたかは良く覚えていないが、レジのところでもまた会ってしまったことだけは良く覚えている▼弥生3月、雪の間の山肌は草花が少しづつ芽吹きだし、野に山にゆらゆらと春の日射しも立ちのほり、のどかな気分にさせてくれます。立春が過ぎてからの大寒波で春が遠のいた感がありますが、気象庁の3ヶ月予報は、平均気温が平年並みか高くなり、春のおとすれは早いとか▼こんな春めいた気分とは裏腹に一年で一番あわただしいこの月、新しい出会いといくつかの別れに戸惑う季節でもあります。



フルート、オカリナの生演奏



雪洞の中で一休み……



フィナーレのスターメイン

おもいきり雪と遊ぼう!! 2日目・昼の部「雪上レクリエーション」



スノーモービルラフティング



地区館対抗スノーダンプリレー



親子チャレンジゲーム・パベルの塔



迷路競走



ボランティアでお手伝いいただいた
皆さんありがとうございました
大勢の町民の手により行われた「雪洞火ほたる祭」、各地区さまざまな雪灯りや堤防沿い、スキー場跡など町内あらゆる所にろうそくの火が灯り、町全体が温かい灯りで包まれました。各地区及びボランティアの皆さん、ありがとうございました。



タイマツみこしの入場!



優勝! 相川地区館



勇壮タイマツ競争



食の幸めぐり



会場内の雪灯り

まち中が雪灯りのキャンパスに! えちごかわぐち物語・冬 雪洞火ほたる祭

白い雪と灯りの祭典「雪洞火ほたる祭」が2月12日～13日、キャンパス川口多目的広場において開催されました。あいにくの雨にもかかわらず、来場者は昨年を大幅に上回り、食の幸めぐりや各地区の雪洞で地元の自慢の田舎料理を楽しみました。勇壮タイマツ競争では、各地区ユニークないでたちで雪の中を激走…。祭りのメイン行事として盛り上げました。

また、家の前などにかわいい雪灯りがズラリと並び、ろうそく1万5千本の灯りが町全体に揺らめいていました。フィナーレは、星野町長が射る火矢により、花火が冬の夜空に花開き、町民総参加の春待つ祭りを盛大に飾りました。

えちご川口交流体験館

4/22 OPEN! AM10:00 (土)

笑顔伝える、笑顔が集う。

キャンパス川口に「生涯学習の充実」をはかる「交流体験館」がオープン。この施設は、県内外アーティストの作品展示はもちろん、出展者による製作体験教室の開催等、本物の芸術に触れ、創る喜びを広げるスペースとして誕生します。また、各種サークル活動の拠点としてご利用いただける、創作・実習の場であり、広く開放された情報発信施設です。

交流体験館の開館を記念して、2日間にわたりオープニングイベントを開催します。(無料)

オープニングイベント1
4/22 天野祐吉講演会
(土) 19:00~20:30



講師プロフィール—
アマノユウキチ(コラムニスト・童話作家)
1933年東京生まれ。創元社、博報堂などを経て独立、1979年「広告批評」を創刊、同誌の編集長、発行人を経て、現在は主にマスコミを対象とした評論やコラムを執筆、また、テレビのコメンテーターとして活躍している。

オープニングイベント2
4/23 アントニオ古賀 ギター&トークショー
(日) ●昼/14:00~ ●夜/19:00~



アントニオ古賀プロフィール
1958年、古賀政男氏に師事し、翌年日本コロムビアよりデビュー。1961年の「その名はフジヤマ」の大ヒットで一世を風靡。以来、ギタリスト・歌手として活躍。数多くのリサイタルを成功させ、第1級のエンターティナーとして揺るぎない地位を確立している。「アントニオ古賀ギター歌謡学院」(現AK音楽院)の設立をはじめ後進の育成と指導にも尽力している。

開館記念アートギャラリー展 4/22(土)~・10:00~17:00

松岡達英「ジャングル展」

松岡達英…1944年長岡市生まれ。イラストレーター・絵本作家。世界を巡り、動植物の細密画を描き数々の賞を受賞する。東京日本橋、故郷長岡などで個展も開催し注目を集める。著書「すばらしい世界の自然」(厚生大臣賞受賞)、「ぼくのロボット恐竜探検」(国際アンデルセン賞オナリスト賞受賞)



オープニングイベント申込み方法

- ・イベントの各定員は250名です。
- ・入場は無料ですが、整理券が必要となります。定員以上の申込の場合は抽選とさせていただきます。
- ・3月中旬頃、オープンPRのチラシと共に、申込み用紙を班回覧いたしますので、そちらにお申込みください。後日入場整理券を送付いたします。

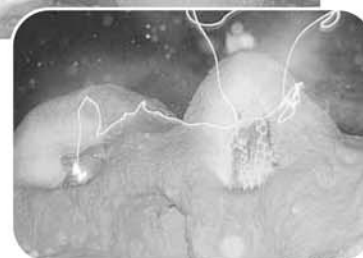
申込み・問い合わせ 企画商工課 ☎ 89-3112

各地区で雪灯りコンテストを実施

各地区で実施された雪灯りコンテスト。家族や友達で作った雪灯りは、どれも心あたたまる力作が勢ぞろい。その中の、優秀作品をご紹介します。



武道窪



サン・ローラ川口から望む「雪灯り」



和南津



田麦山



相川・荒谷



西川口



木沢・峠



川口

町いっぱい、アイデアあふれる雪灯りが……



活動開始!

21世紀のまち

づくり戦略会議

21世紀のまちづくり戦略会議 専門部会委員名簿 (敬称略・順不同) ◎部会長 ○副部会長

ふるさとの顔づくり部会	内藤綾子	川口5	綱金治	川口6	水落達也	大形	
◎大淵昇	前原真島松栄	相川口	中林礼子	川口3	小計30名		
○中林君枝	川口3	星野正美	岩出原	関さとみ	新敷	人づくり部会	
関俊昭	川口3	水落裕子	大形	江島弘明	牛ヶ島	◎佐藤晃	
関清子	上河原	山吉泰久	川口2	宮幸雄	貝之沢	○中沢誠	
佐藤ひで子	川口5	綱博之	川口7	阿部晴夫	武道窪	関口修男	
山田由里子	中新田	阿部さつき	武道窪	綱彬宏	武道窪	阿部政栄	
小見良一	大形	小計13名		広井哲也	相川1	宮昭夫	
丸山正則	川口6	地域づくり部会	広井渡	相川2	小川美津恵	大形	
横山基文	小千谷市	◎関照栄	上河原	宮清一	荒谷	星野ゆみ子	
井口久美子	川口2	○小西明彦	荒屋	宮克則	荒谷	関隆一	
小計10名		喜多村益二	川口5	大淵盛夫	前原	丸山要子	
えちごかわぐち物語創造部会	阿部昇	川口6	佐藤伸広	大形	鈴木幸子	相川1	
◎横田守	川口6	関泰明	中新田	星野正夫	木沢	山田康浩	
○星野総一郎	木沢	星野忠明	木沢	星野隆一	木沢	山吉和浩	
内藤フミ	川口4	金杵和彦	上河原	渡辺諒一	川口7	保坂淳子	
小宮山芳治	原新田	小林嘉弘	八郎場	綱政直	川口7	広井康子	
保科松生	牛ヶ島	内藤ちい子	野田	金沢賢児	中新田	小計14名	
覚張芳夫	下村	星野正晴	牛ヶ首	原圭以子	川口1	合計67名	

目的は

町民総参加でゆとりとうるおいのある生活を実感できる地域社会の構築にあり、そのためには

- ・生き生きとした毎日を送るための自分づくり
→真価値の発見、生きがいの創造
 - ・自ら考えたことを実現、実践への勇氣
→自分へのほこり、地域のほこり
 - ・地域における地域づくりの自主的計画、管理・運営
→地域内の連帯意識とコミュニティの醸成
- がキーポイント。

実現に向けて

21世紀のまちづくり戦略会議

専門部会

【専門部会が仕掛人となり町民の声として戦略会議をとおり行政に具体的項目を提案】

- ★ふるさとの顔づくり部会
町の特性や全体像を再構築して、内外に明確に打ち出し、より良いイメージを認識させる町の顔となるものを検討
- ★えちごかわぐち物語創造部会
全町民一体となったまつりを検討
- ★地域づくり部会
各地域が自主的に生きがいの持てる地域づくりを実践するための仕組みをつくり、仕掛人となる。
- ★人づくり部会
町民参加型まちづくりを定着させるための調査、研究を行い、自らが教養を深め「仕掛人」として実践を行う。

※各専門部会の委員は随時受け付けています。
興味のある方、参加してみたい方はお気軽にご連絡ください。
問い合わせ 企画商工課 ☎99-3112

人づくり部会
この部会は、「まちづくりは人づくり」を合言葉に、まず委員自ら教養を深めるといふ視点で生涯学習の勉強会を行う予定らしい。

地域づくり部会
地域づくりの参考事例として「木沢集落の未来を考えるつどい」・「牛ヶ島ビレッジビジョン計画」の活動状況の報告がなされた後、各委員さんより自分の地域の現状を発表してもらい、前向きな意見交換が行われたらしいが、今回は、これからの川口町における地域づくりを、より良いものに進めていくため、実際に地域づくり活動を行っている町に視察に行くらしい。

えちごかわぐち物語創造部会
川口町は、清流と大河の出合いの町であり、古くから川と深くかかわってきた歴史があることに着目し、町史や歴史民族同好会の話などを聞き、町民総参加できる川口町独自の新しい「えちごかわぐち物語」を研究するようだ。



ふるさとの顔づくり部会
気軽に声がかけるあえる雰囲気づくり・町外から見た時の町の特徴づくり・町のすばらしい自然景観を守る・駅前の空店舗を何かに活用できないかなど、その他多くの意見が出され、まずは、自分の住む町を良く知らなくては何か始まらないということ、雪消えを待ち、実際に町を歩き現状を把握する予定だ。



生き生き
生涯学習

雪道を歩いて実感！

「福祉の町づくりセミナー」開催



の除雪体制は整備されてきてはいるものの、歩道除雪や歩行者の安全確保などを考えるにまだまだ十分とは言えません。今回のセミナーでは、まず参加者全員で実際に雪道の歩行を体験し、普段感じていること、雪と共に暮らすうえで工夫していること、安全に歩行するうえで気を付けていることについて意見交換会を行いました。



1月30日(日)末広荘において、「第2回福祉の町づくりセミナー」が開催されました。このセミナーは、福祉の町づくりを行ううえで、「道」は切っても切れない関係があると考え、第1回目は無雪期の道路について、第2回目である今回は雪道について気づきの学習を行いました。雪との生活を切り離すことのできない川口町では、雪道

うかがい、「川口町の住人にとってやさしい道とは何か？」について様々な観点から意見を出し合いました。参加者の皆さんからのご意見、ご感想の一部をご紹介します。

・普段歩くスタイルはリュック、帽子、手袋を着用し両手を開いて歩いている。
・厚底の長靴を履き、靴底が減ったら履き替える。
・明け方雪道を歩いていると雪がキラキラ光り、自分が宝宝箱の中にいるような気分になってくれる。
・まっさらな雪の上に自分の足跡をつけて歩くのはとても気分がいい。
・今まで道路の消雪パイプの水で雪を消そうと雪出しをしていたが、今日実際に道路を歩いてみて歩行者にとって非常

参加者の皆さんと話し合いを進めていて、今まで歩行するうえで邪魔なもの、こわいもの、もしくは考えられなかった雪も、お互いにマナーを守ることで温かい気持ちにさせてくれるものであること、そして、雪と上手に付き合うことで雪道歩行が、今まで以上に楽しくなると再確認することができました。

に歩きづらいと気付いた。
・「ゴミステーションのない地区を歩いていると、夜間にゴミを出す人がいるため、除雪車がゴミを飛ばし道路が汚れていることがある。ゴミは決められた時間に出すというマナーを守ってほしい。
・高床式の家が非常に多い中、郵便受けを一階の階段下や道に面したところに設置してくれている家がある。配りものなどをしているとき、ちよつとした配慮、思いやりがありがたい。
・町中は家が混み合っているため、屋根の雪が道に落ちて歩

づくりに一歩近づいていくのではないのでしょうか。
「福祉の町づくりセミナー」では、来年度も自分たちでできる「住みやすい、やさしい町づくり」について話し合いを中心とした学習を進めていきます。
開催のお知らせは4月に「学びの里大学」の受講生募集の案内に掲載しますので、皆さんの参加をお待ちしています。

行の邪魔にならないよう常に気を付けている。
・スピードを出し、歩行者に雪をかけても平気なドライバーが多い中、スピードをゆるめ、会釈をして通り過ぎるドライバーに出会うこともうれしい。
・町中に路上駐車が非常に多く歩行が困難である。特に道路の両側駐車や交差点付近の駐車はしないなど、ルールを守ってほしい。
・自分が幼いころ雪と遊んで楽しんだ気持ちを忘れずにこれからも雪道歩行を楽しみたい。

川口町「明るい家庭づくり」

児童・生徒作文コンクール入賞作品決定

平成11年度「明るい家庭づくり」作文コンクールが行われ、町内小中学校からたくさんのお応募があった中から7作品の優秀賞と14作品の入賞賞が決定しました。その中の優秀賞の1作品を紹介します。

「曾祖母から学んだこと」

川口中学校3年 丸山 純末さん

ある日私は、母に朝の四時に起こされた。それは前日入院した曾祖母の具合が急に悪化したということで、病院から電話があったからだった。

私はテスト前ということでも1時にふとんに入り、3時間しか寝ていなかったのがおこったのか頭の中で理解するのは時間がかった。そして急いで車に飛び乗り病院へ向かった。車の中では「元気にありますように」と願いつけていた。病院へ着いてからは速足で病室へ向い、戸を開けた。すると戸のむこうにいたのはすでに息のない曾祖母だった。私の願いは届かなかった。

曾祖母の死が急だったのは、入院前具合が悪いので病院へ行くことをすすめたが、曾祖母は「また皆して俺をおい出そうとして」と怒るばかりで病院には行くこととせず、そのせいもあり病状の変化が早かったからだと思う。

そして、葬式が終わった今、曾祖母は今まで幸せだったのだろうかと考えることがある。誰もいない暗い部屋でたった一人で亡くなっていった悲しい死、それまでの間、私は曾祖母に何かしてあげられたのだろうか。

このように、振り返るといろいろなことを思い出す。そういえば、今年の夏休みは祖母が体の具合が悪いため入院して、家には曾祖母と私の二人だけだった時があった。お昼ごはんには、私が簡単な

料理をして二人で食べていた。私が作る料理は、曾祖母の口にあわないのではないかと心配だったが、曾祖母は「あーうまかった」、「久しぶりにこんな食べ物だけど、おいしかったよ」といつも言ってくれた。作る方としては何よりもその言葉がうれしかった。そしてごはんが終わると部屋で話をしたりと接することが多かった。いつもニコニコと笑ってくれて大好きだった。

私は、曾祖母の死からいろいろなことを考えた。

曾祖母は常に人のことを考えていて、人に迷惑もかけず、自分のことは何でもしつかりとし、いろいろな人から好かれていた。それに比べて私と違って迷惑ばかりかけていて、常に自分より人のことを考えるということはできないので、曾祖母はすごいと思った。また、祖父などから曾祖母のことをくわしく聞くことも

できた。曾祖母は昔から子どもがかぜをひけば、お湯に砂糖と梅干しをつぶしたものをに入れて飲ませていたという。実際に私もかぜをひいた時に作ってもらっていた。体が温まると同時に、曾祖母の優しく温かいぬくもりも伝わってきて、薬を飲むより効果がある気がした。

そんな話を聞いて、私にもその考え方が変わった。よく「考えが古い」という言葉を聞くが、古い考えも良いのではないかと最近思う。明治生まれの曾祖母は、いらなくなった物をうまくいかして利用していた。それは物を大切にすることにもつながり、いろいろな面で良いことだと思ふ。

このようなことを他にもたくさん考えた。私は曾祖母を尊敬していたが、よりすばらしい人に思えた。変わったのは私だけではなと思う。きっと、家族皆が大切な人の命について、よりいっそう深く考えることができたと思ふ。曾祖母の死は本当に悲しいできごとだったが、大好きな曾祖母はいつも

私たち家族を見守ってくれていると思う。だから、また元気で笑いのたえない明るい家族でいられるようにしたい。そして、曾祖母のことを常に心において、曾祖母のようないい人になりたいと思う。そのために私は、人の気持ちを考え、いつも明るくしていきたい。そして私の明るさで少しの人でも幸せにできたらいいと思う。

平成11年度

「明るい家庭づくり」作文
コンクール入賞者(敬称略)

優秀賞

星野 智子(木沢小1年)

「がんばれおとうさん」

星野 智也(泉水小2年)

「ぼくの妹のさやか」

小川 ゆり(田麦山小3年)

「がんばるばあちゃん」

小西由希子(川口小4年)

「やったね!」

きれいな錦たまご」

星野 達矢(泉水小5年)

「ぼくの母」

真島 友希(川口小6年)

「かわいかったピースケ」

丸山 純末(川口中3年)

「曾祖母から学んだこと」
(入賞賞は省略します)

特集

介護保険制度

町支援センター
☎89-3974

昨年10月より準備要介護認定作業が進められているところですが、1月末までに135人の申請があり、その内89人の方の判定が終了しています。2月末までには、以前より何かしらのサービスを受けている方の要介護認定が概ね終了する予定です。(入院されている方等を除きます)

今後要介護認定を受けようとする方へ

準備要介護認定は、随時受け付けています。

4月から、デイサービス・ホームヘルプサービス・施設入所等の介護サービスを利用する場合、障害者の方等、他の制度を利用される方以外は、要介護認定を受けることとなります。現在サービスを差している方には、連絡を差し上げていますが、それ以外の方で利用希望のある方は、早急に町支援センターまでご連絡ください。

要介護認定を受けられたい方へ

要支援以上の認定を受けられた在宅の方で、4月以降にサービスの利用を希望する方は、ケアプラン(居宅介護サービス計画)を作成していただくことになっていきます。(ケアプランがないと、一時的に

利用料の全額を支払っていた、後から、保険給付分をお返しすることになります) なお、施設に入所等されている方は、施設とご相談ください。

居宅介護支援事業者(注1)を決定した場合届出が必要です。

ケアプランは、ご自分で作ることもできますが、居宅介護支援事業者で作成してもらえます。(全額保険でまかない、費用はかかりません) 居宅介護支援事業者を決定(変更)した時には、町に届出が必要となります。(書類は、介護認定結果の通知に同封してあります。また、町支援センターにもあります)

なお、居宅介護支援事業者の選定については、現在サービスを受けている事業者または、町支援センターにご相談ください。

保険料等は…

12月の広報でお知らせしたとおり、急に第一号被保険者(65歳以上)の方の負担増とならないように、保険料を減

額することとなりました。具体的には、平成12年4月から9月までの半年間は保険料を徴収しません。また、平成12年10月より平成13年9月までの半年間は、保険料が本来の半額となります。なお、詳細については、4月号の広報でお知らせします。

(注1)居宅介護支援事業者

居宅介護支援事業者とは、在宅で介護される方に、デイサービス、ホームヘルプサービス・訪問看護・ショートステイ等の在宅サービスの調整を行う事業者です。実際は、その事業者にいる介護支援専門員(ケアマネジャー)が計画を作成します。計画は、介護を必要とされる方の身体状況や生活環境等を総合的に判断し、もっとも適した計画を立て、サービスを提供する事業者と日程等の調整を行うものです。その他、在宅で介護する場合の総合的な相談窓口となります。(なお、町内では、川口町社会福祉協議会がこの居宅介護支援事業者の指定を受けています)

介護度別の状態像及び川口町認定結果状況(平成12年1月末現在)

区分	状態像(必ずしも状態が一致するものではありません)	認定数	認定率
要支援	介護を必要とする程ではないが、日常生活において何らかの手助けが必要な状態	13人	14.6%
要介護1	歩行・食事・排泄・入浴等の日常生活の基本的動作において部分的に介助を要する状態	27人	30.3%
要介護2	日常生活の基本的動作において、部分的若しくは動作によっては全面的に介助を要する状態	21人	23.6%
要介護3	日常生活の基本的動作において、全面的に介助を要する状態	11人	12.4%
要介護4	日常生活を行なう能力がかなり低下しており、生活全般にわたり全面的若しくは部分的介護が必要な状態	9人	10.1%
要介護5	日常生活を行なう能力が著しく低下しており、生活全般にわたり全面的介護が必要な状態(意志の疎通等も困難)	8人	9.0%

4月1日から変わります

一般家庭ごみの分け方と出し方!

「一般家庭から出る「ビニール・プラスチック」の一部が、4月1日から再商品化され資源ごみとして取り扱われます。

びのチューブなどのプラスチック製品も資源ごみとなります。



新たな資源ごみ

資源ごみ

あきかん・あきびん・ペットボトルは従前どおりの取り扱いとなります。

これに加え、商店やスーパーマーケット等から購入してきたあらゆる品物を包装してあるポリ袋やビニール袋、肉・魚・お惣菜のトレーやラップ類、マヨネーズやわさ

燃やすごみ

台所から出る残飯、野菜・魚のくずや、紙・布類、庭木・雑草等は従前どおりの取り扱いとなります。

これに加え、粗大ごみとして取り扱っていた家具類等も

燃やすごみとして収集します。なお、家具類は必ず、小さくこわし、しっかり結んでから出してください。

ごみの無料搬入券の廃止

今まで町民課窓口で発行していましたが、一般家庭ごみの「ごみ無料搬入券」は4月1日から廃止されます。今後、各自が直接処理場へ搬入していただき、受付で説明を受けた後引き取られます。なお、料金については無料です。

ごみ出しのルールを守って

きれいな

町づくりを!

問い合わせ 町民課
☎89-4418

平成12年度 ごみの分け方と出し方

収集区域	一般ごみのステーション			粗大ごみのステーション	粗大ごみ
	燃やすごみ	埋め立てごみ	資源ごみ	粗大ごみ	
	残飯・野菜くず・紙・布・家具	金属・ガラス・埋め立てプラスチック	容器包装用のビニール・プラスチック	かん・びん・ペットボトル	電化製品等
東地区	毎週 月水金曜日	第1・3火曜日	毎週火曜日 第1・3土曜日	毎週木曜日	毎月 第2木曜日
西地区		第2・4火曜日	毎週火曜日 第2・4土曜日		
ごみ収集をしない日					
第2・4・5土曜日		日曜日・祝日・振替休日・年末年始(12月31日~1月3日)			
第1・3・5土曜日					

東地区…大字和南津・木沢・中山・川口・牛ヶ島・武道窪・相川・荒谷

西地区…大字西川口・田麦山及び鷺巣地区

※5月5日(金)は祝日ですが、「燃やすごみ」を収集します。

HOT トピックス

男女共同参画 ヤングリーダー会議に参加

2月14日～15日の2日間、総理府講堂で行われた総理府主催の「男女共同参画ヤングリーダー会議」に丸山智義さん(貝之沢)が新潟県を代表し、参加しました。

この会議は、男女共同参画社会の実現に向けて、地方公共団体をはじめ民間団体やすべての国民が積極的に自主的な取り組みを展開していくことが重要であるとして、政府が全国各地から近い将来地域のリーダーとして活躍が期待されている人たちとの意見交換会を目的に開催されたものです。

会議には、各都道府県から約100名が参加し、丸山さんは参加者を代表して、男女共同参画社会づくりに向けて「もつと男女が生き生きと暮らせる川口に」をテーマに自らの体験を発表されました。「貴重な体験をすることができました。川口町の男女共同参画社会づくりは、やっとスタートしたばかりですが、これからの社会、男だから

丸山智義さん(貝之沢)

女だから」といった考え方はなく、ひとりの人間としての人格が尊重されることが大切。そのために行政や社会の受け皿(窓口)が整備され、自分らしい生き方を自分の意志で自由に選択できる日が一日も早く来ることを望んでいます」と、その思いを語っていました。



分断会において事例発表をする丸山さん

越後の冬の生活体験・交流 えちご長岡地酒塾



2月19・20日、長岡地域13市町村において「えちご長岡地酒塾」が行われ、川口町コースは首都圏の若者から外国人まで21名が参加し、雪国でのひとときを過ごしました。

このイベントは、越後の冬の生活を体験してもらおうと行われているもので、酒蔵見学をはじめ、夜は雪灯りを作り、揺らめく灯りを見ながら新潟の地酒と郷土料理を楽しみました。また、ヤマン婆の昔話は、興味深かったようです。翌日は、陶芸教室や手作りきな粉にトライ。そして、つきたての餅に大満足！楽しい冬の越後を満喫しました。

鬼の狂言

2月3日節分の夜、宝積寺では、毎年恒例の豆まきが行われました。ここ宝積寺の節分は、鬼の狂言があり、迫力ある唸り声とこん棒を突く音に泣く子も続出。しかし、賢い赤鬼(厄の神)とだまされやすい青鬼(星の神)の駆けひきや、酒に酔った鬼を見て大人までも大爆笑。また、酒を飲む前に、どちらが飲むか神様のお指図に従う時「♪べろべろの神様は正直な神様で……♪」とお寺の本堂にいるみんなで大合唱！毎年いろいろなアレンジで節分に来た人を楽しませて



北魚新春小・中学生書道展 渡辺聡子さんに大賞

第五回北魚新春小・中学生書道展で渡辺聡子さん(川口小6年生)がみごと大賞を受賞しました。

この書道展は、北魚沼郡町村教育委員会協議会が主催したもので、郡内24校の小・中学生から二千三百点を越える応募がありました。渡辺さんの作品は正確な用筆とスケールの大きさ、力強さなどが評価されたようです。



その他の入賞者(敬称略) 準大賞 宮 倫世(泉水小5年) 優秀賞 広井 侑香(泉水小3年) 奨励賞 吉原まり恵(川口小5年) 菅原 菜穂(川口中2年)

魚野川・信濃川 水辺空間整備検討会参加者募集

川口町の顔である清流魚野川・信濃川の両河川の水辺を相川川も含めて、周辺の自然環境・社会環境等を踏まえ、地域と一体となった親しまれる水辺空間を創り出していくため、4月から建設省・新潟県・町ならびに町民の皆さんとの水辺空間整備検討会の開催を予定しています。



町に在住、または、勤務されている多くの方の参加をお待ちしています。詳しい内容は、4月号でお知らせします。申込み・問い合わせ 企画商工課 ☎89-31112

(表1) 毎月納付と1年前納付の比較表

	毎月納付	1年前納付	割引額
定額保険料 13,300円	159,600円	155,750円	3,850円
定額保険料+付加保険料 13,300円+400円	164,400円	160,430円	3,970円

※平成12年度保険料額は、平成11年度と同額に据え置かれる予定です。



●便利でお得！前納制度 国民年金には、一年分または一定期間分の保険料を前もって一度に納めることのできる「前納制度」があります。前納すると毎月納める手間がはぶけ、納め忘れの心配もなく、保険料も割引されるの

●保険料の納め忘れはありますか？ 国民年金(基礎年金)は公的年金制度の基礎となる年金です。現在、国民年金は20歳から60歳までのすべての人が加入し、高齢者の生活を支える「世代と世代の支えあい」の制度です。 保険料の納め忘れがあると、満額の老齢年金が受けられないだけでなく、万一のときの遺族年金や障害年金が受けられない場合があります。平成11年度国民年金保険料の納付期限は4月28日までですので納め忘れのある人は、早めに納めましょう。 保険料の納め忘れをなくすために、保険料前納制度や安心・便利・確実な口座振替を利用しましょう。

●就職される皆さんへ 春は異動の季節です 国民年金は、就職・退職・結婚などによって職業や生活状況に変化があった場合、種別変更の届出が必要です。 学生や自営業者の方は国民年金の第1号被保険者です。就職すると厚生年金や共済組合に加入しますが、この場合は国民年金の第2号被保険者になります。 就職される方に扶養される配偶者がいる場合は、その配偶者の国民年金の種別も第1号被保険者から第3号被保険者へ変わりますので、配偶者の種別変更の手続きも忘れずに行ってください。 まず、就職先に現在お持ちの「年金手帳」を提出して、厚生年金等の加入手続きをし、社会保険等の保険証を持つて、町民課国民年金係まで届出を行ってください。 年金手帳に記載されている「基礎年金番号」はどの年金制度に加入しても生涯変わらず、すべての年金の手続きに必要です。 年金手帳は大切に保管しましょう。

みんなの広場

サークル紹介 ⑳



〈表装趣味の会〉

平成10年9月から始められたこの会は、現在、講師を含む7名で行っています。

自分で書いたもの、または自宅にあるものを表装するのですが、裏打ち・糊付け等の作業を行い、一つの作品が完成するまでに約1ヶ月程度かかります。2時間半全神経を集中して作業を行うため、快い疲労感を感じられます。

そして、完成した作品が壁にかけられた時、なんともいえない感動があります。

日時 毎月2回(水曜日)
9時30分～12時

会場 図書館閲覧室

問い合わせ

関 市郎(相川口)

☎89-3520



大淵時江さん(川口)

いきいきギャラリー

現在、「秋彩会」の会員として勉強中です。この会に入ったきっかけは、今まで登った思い出の山々を、自分が老いてから絵にするためでした。今回は、春らしくチューリップを描いてみました。

俳句

大内 迪子先生選

老人クラブ俳句教室(1月7日)

一病に負ける事なく去年今年 星野 きの
 一病を得た当時は誰でもまだわり落ち込むが、長病になると慣れてくる。病氣とは、気を病むとも言う。作者も一病に負けるものと、新たな心で年を迎えられた。

冬ざれの瀬音に暮るる無住寺 喜多村キヨ
 魚野川の瀬音を裏に聞く古刹が、とうとう無住寺になってしまった。町の人達は、みな惜しみ、淋しい思いをされている。その寺が急に寂びれ、冬ざれてしまった。そして、瀬音ばかりが高鳴っている。

大年や皇大神宮のたやの番 渡辺 裕一
 「たやの番」とひら仮名であった。広辞苑を引くと「田屋」と書き、田の番をする仮小屋とある。この句、神宮の初詣客を迎えるためのいろいろの準備をし、夜通し神さまの守をするための小屋らしい。町の役員が集って、注連を張り、福薬を敷いたり、破魔矢の用意をしたり、焚火をしながらの風景が浮かぶ。

左義長の藁灰の浮く茶碗酒 上村たつお
 みなで集ってどんと焼の行事をし、それも終りに近くなつた。役の人達が茶碗酒を振舞われた。受け取ってみると、そのどんと焼の藁灰が一つ浮いていた。作者は、むしろよろこんで一句を得た。鄙びた感じが、あますなく、余分なことを言わずに表現され、佳句となった。

今月の味じまん ㉗ 三色野菜の豚肉巻きソテー



万能ねぎ・にんじん・えのき茸を豚肉で巻いて、お弁当のおかずやおつまみにもおすすめです。

●材料(4人分)

- 豚もも薄切り.....400g
- 万能ねぎ.....1ワ
- にんじん.....小1本
- えのき茸.....2袋
- かたくり粉.....適量
- サラダ油.....適量
- しょうゆ.....大さじ4
- 砂糖.....大さじ2
- みりん.....大さじ2
- 酒.....大さじ2
- 酢.....大さじ2

●作り方

- ①万能ねぎは10cm位の長さに切る。にんじんも同じく10cm位のせん切り。えのき茸は根元を切り落としほぐす。
- ②豚肉3～4枚は少しずつ重ねながら縦ながに広げる。この上に野菜を等分のにせて端からきっちり巻く。残りも同様にする。
- ③②の表面にかたくり粉を薄くまぶす。フライパンにサラダ油を熱し、巻き終わりを下にして並べ両面を焼く。全体に焼き色がついたらふたをし、5分程蒸し焼きにする。
- ④③の中に④を入れ、フライパンを揺すりながら調味料を全体にからめる。最後に酢を加え火からおろす。食べやすく切り、野菜を添えて器に盛りつける。

〈ポイント〉

- ◎なかに巻く野菜は、季節のものを色どりよく使ってください。
- ◎にんじん等硬い野菜はさっとゆでてください。

提供：食生活改善推進委員協議会
新宮 禮(新敷) ☎89-2130
岡村 英子(中新田) ☎89-3054

「ごみを捨てないで」

川口小学校なかよし学級

川口小学校のなかよし学級では、平成10年度に21回、11年度に21回、合わせて41回のクリーン作戦に取り組みました。校区をまわり、ごみを拾うという活動をとおして、児童が思ったことをお伝えします。

さ	ん	だ	し	さ	
り	あ	ご	た	わ	
の	ち	み	た	た	
せ	り	を	ら	し	
ん	ひ	す	ず	か	
と	も	て	あ	ん	
し	も	り	ば	り	
て	り	て	り	い	
ん	だ	い	ん	ま	



アルミかんがいっぱいありました。



こんなにひろいました。

短歌

公民館俳句教室 4月9日(日) (生涯学習センター)
※出句締切 午後1時

3月8日(水) (末広荘)

山村を背負ひ立つこと女こ衆の忘年会の賑はひ遅
 山畑ゆ生活の糧と桑摘みて蚕飼ひせし日の遙かな
 今世紀最後の十五夜いざよひの清しき光を無量で
 仰ぐ 雪晴れて薄日射す道犬と行く犬の行くまま距離を
 延ばして 森山 みえ

お灯明小袖にゆれる初詣 山田 久子
 師の賀状心ときめき読み返し 山田 悦
 除雪機を使ふが楽し歳忘れ 星野 七朗
 若き日の記憶辿りて毛糸編む 小宮山トキ
 「遠富士」てふ句集を読める炬燵かな 山田 チヨ
 一と仕事するかと言ひつ頼被 星野紗都女
 早々と除雪車の音今朝の雪 小西シゲノ
 酒三升飲んで歌ひしのっぺ汁 渡辺登子一
 困はれし山茶花紅き花こぼす 関 よし
 二千年明けしサイレン高鳴れる 三輪 京子
 初句会みなおだやかに闘志秘め 藤田 節子
 御無沙汰を賀状に託す心かな 宮 ミヨ
 冬深し凜凜しく聳え八海山 江島 松露
 元旦や心新たに箸を取り 星野千恵子
 句の話尽きぬ友と居日短か 丸山 トシ
 子ら揃ひ正月らしくなりにけり 丸山 好枝
 歳時記と句帳広げて冬籠 覚張 次郎
 冬困して又見えざる燐家の灯 星野 ちい
 佳き人に会うて恵方と思ひけり 鈴木 良仙
 新暦秘密のまるをつけにけり 星野智恵子
 頬被りにちよと指触れて御挨拶 新宮 山紫
 青年団注連打ちなせし昔かな 星野修庭史